

## PF-UA ユーザーグループ継続申請書 兼 趣意書

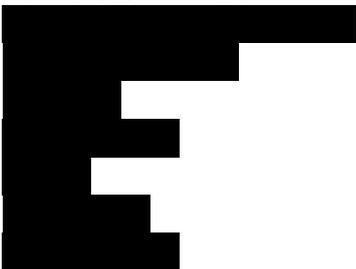
PF-UA 運営委員会殿			
以下の通りユーザーグループの継続を申請致します。			
申請日	2022年 3月 2日	継続期間	2022年 4月 1日から5年間
申請者氏名	米山明男 署名：	職名	
所属機関			

ユーザーグループ名	位相計測
-----------	------

継続の目的：  
 1990年代前半より、X線位相情報のイメージングへの利用研究が興り、PFはそのアクティビティにおいて初期から重要な役割を果たしている。それを受けて、イメージング分野を中心に、X線コヒーレンスおよびX線位相計測に関する技術的および学術的情報交換の機会の提供と、PFの設備向上を求めることを目的とし、本ユーザーグループを設立して活動してきた。また、PF将来光源計画においても、X線コヒーレンス利用が非常に重要であるため、本ユーザーグループはPF研究会などを開催して活発な議論を行い、PFの将来計画に積極的に貢献してきた。したがって、このアクティビティを今後も維持継続することは、PFユーザーおよびPF将来計画に必要な不可欠であり、その役割の重要性はますます増していくだろうと考えられる。そこで、位相計測ユーザーグループをX線コヒーレンス研究におけるハード開発と応用研究のユーザー側の受け皿として継続し、今後の当該分野の発展に貢献したい。

ユーザーグループとしての今後の主な活動予定内容：  
 X線位相計測技術とその応用、特にイメージング応用に関してユーザーおよび施設側との情報交換、議論を深める。また、PF将来計画に対してユーザーグループ側から積極的な提案を出せる体制を整える。さらに、それに関して必要な実験設備や実験ステーション（あるいはビームライン）の整備のために、UGメンバーが競争的外部資金を申請する際の支援や、あるいはその申請自体の母体となることも、ユーザーグループの活動の視野に含める。

グループメンバー（紙面が足りないときは裏面へ追加）

氏名	所属機関
(代表者) 米山 明男	九州シンクロトロン光研究センター
	(氏名順、敬称略) 

(続く)

メンバーの主な研究活動内容：  
 PFの内外において、X線位相計測およびイメージング応用技術、関連技術についての開発、研究を行っている。

主に利用する（予定の）ビームライン	BL-14B, BL-14C, BL-3C 等
Photon Factory 担当者	基盤技術部門 氏名： 平野馨一
	PF-UA 運営委員会 受付 承認

グループメンバー (続き)	
氏 名	所 属 機 関
[Redacted]	[Redacted]

継続申請について：

1. 継続申請は PF-UA 運営委員会宛とし、PF-UA 事務局に提出してください。
2. 申請の際、必ず「PF-UA ユーザーグループ活動報告書」を添付してください。